

## 平成 27 年度 メンタル系疾患(被保険者:入院外)の動向に関するレポート

平成 29 年 4 月

IT 推進部 データ分析推進グループ

### 調査の概要及び対象データ

本レポートは、職場のメンタルヘルス対策の観点から、1,234 組合の被保険者(約 1,447 万人)を対象に、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」、「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の「入院外」における有病者数や医療費についてとりまとめたものである。

### 調査対象疾患 (ICD-10 コード)

F20-F29		統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害
1	F20,F21,F22	統合失調症、統合失調症型障害、持続性妄想性障害、急性一過性精神病性障害、感応性妄想性障害、統合失調感情障害、その他の非器質性精神病性障害、詳細不明の非器質性精神病
	F23,F24,F25, F28F29	
F30-F39		気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
2	F30,F31,F32	躁病エピソード、双極性感情障害<躁うつ病>、うつ病エピソード、反復性うつ病障害、持続性気分[感情]障害、その他の気分[感情]障害、詳細不明の気分[感情]障害
	F33,F34,F38	
	F39	
F40-F48		神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
3	F40,F41,F42	恐怖症性不安障害、その他の不安障害、強迫性障害<強迫神経症>、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性[転換性]障害、身体表現性障害、その他の神経症性障害
	F43,F44,F45	
	F48	

### 調査対象データ

組合数	レセプト種別	区分	加入者数 (人)	レセプト件数 (件)
1,234 組合	入院外	合計	14,472,130	75,784,748
		被保険者		
		男性	9,748,194	47,735,762
		女性	4,723,984	28,048,986

加入者数は、「合計」及び「男性」、「女性」の各加入者数を月平均により算出しているため、「男性」、「女性」の合計が加入者「合計」とは一致しない。

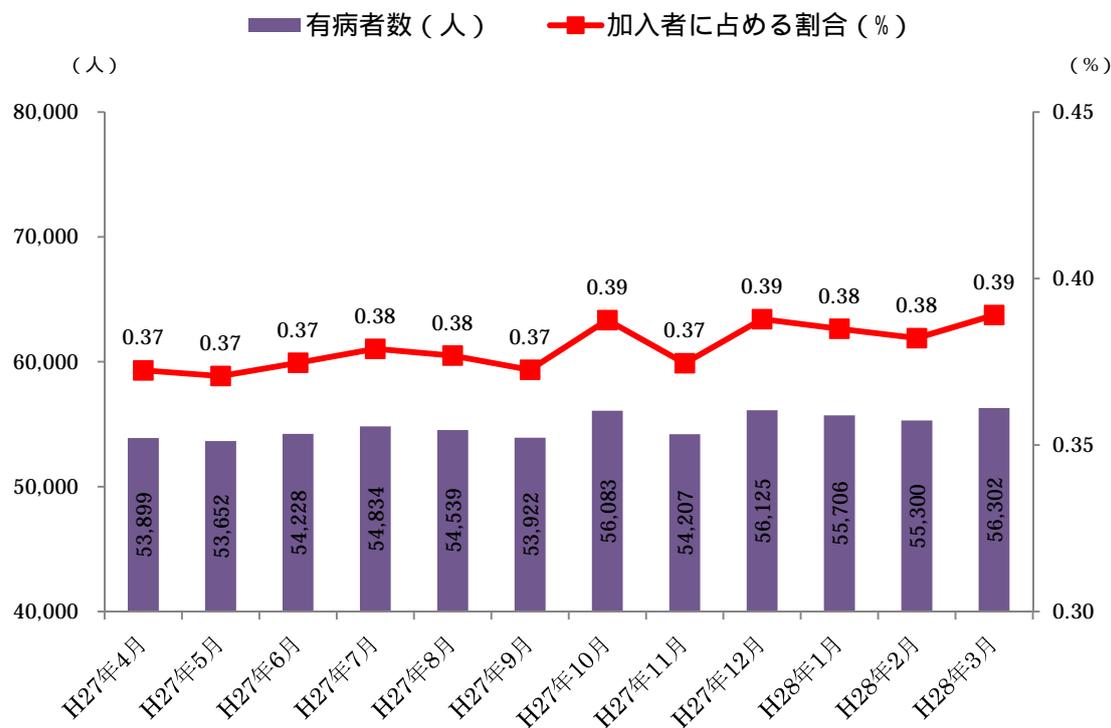
## 1. 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害

### (1) 有病者数<sup>1</sup>の動向

被保険者に占める「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の有病者数の割合は平均 0.38%となっており、男女別にみると男性・女性ともに 0.38%となっている。月別推移をみると、0.37%～0.39%で推移しており、10月、12月、3月にやや増加する傾向がみられる。また、男女別(p.3)にみても同様の傾向がみられる。

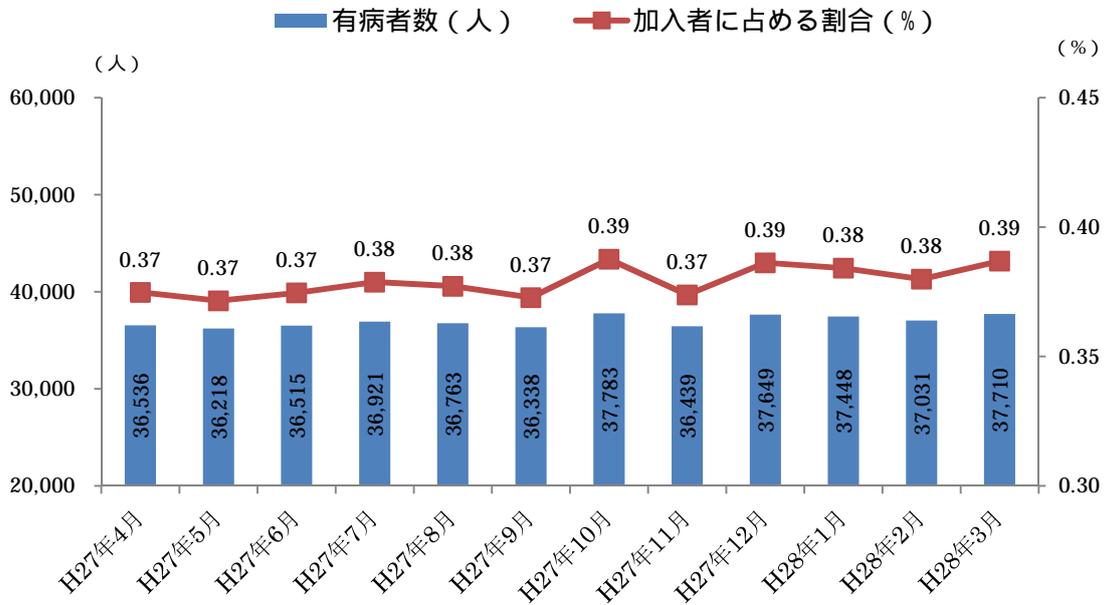
被保険者に占める有病者数の割合(平均)		0.38%
	男性	0.38%
	女性	0.38%

有病者の月次推移：被保険者【男女計】

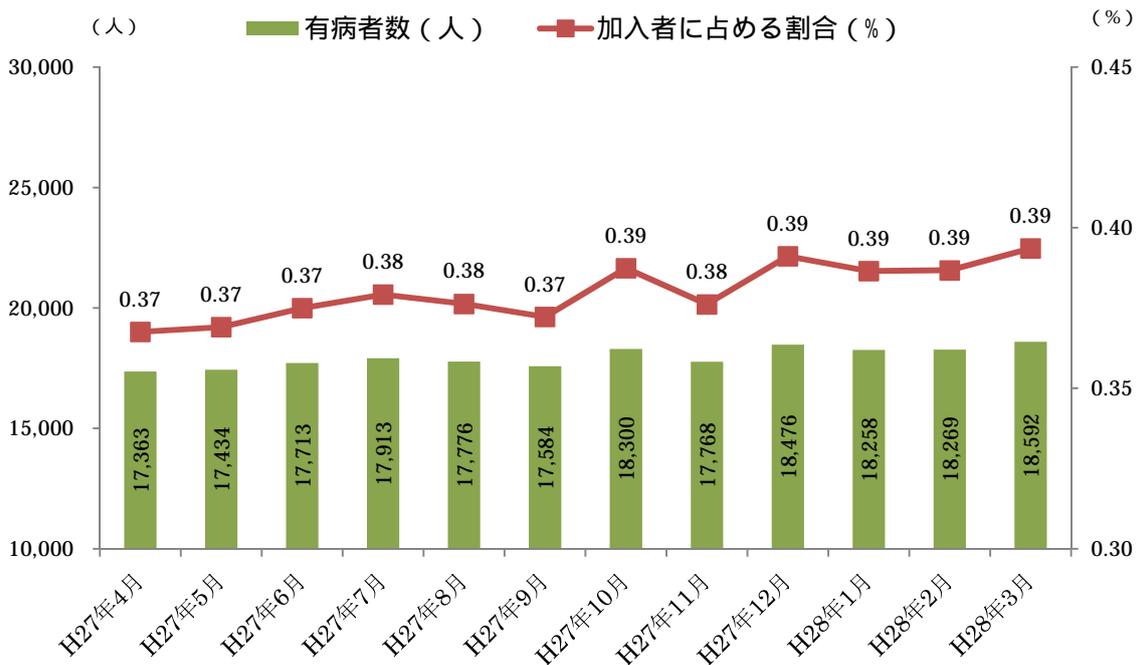


<sup>1</sup>有病者数は、レセプト上に当該傷病名の記載がある受診者の数である(なお、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントしている。また、1受診者に複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに1人とカウントしている)。

### 被保険者【男性】

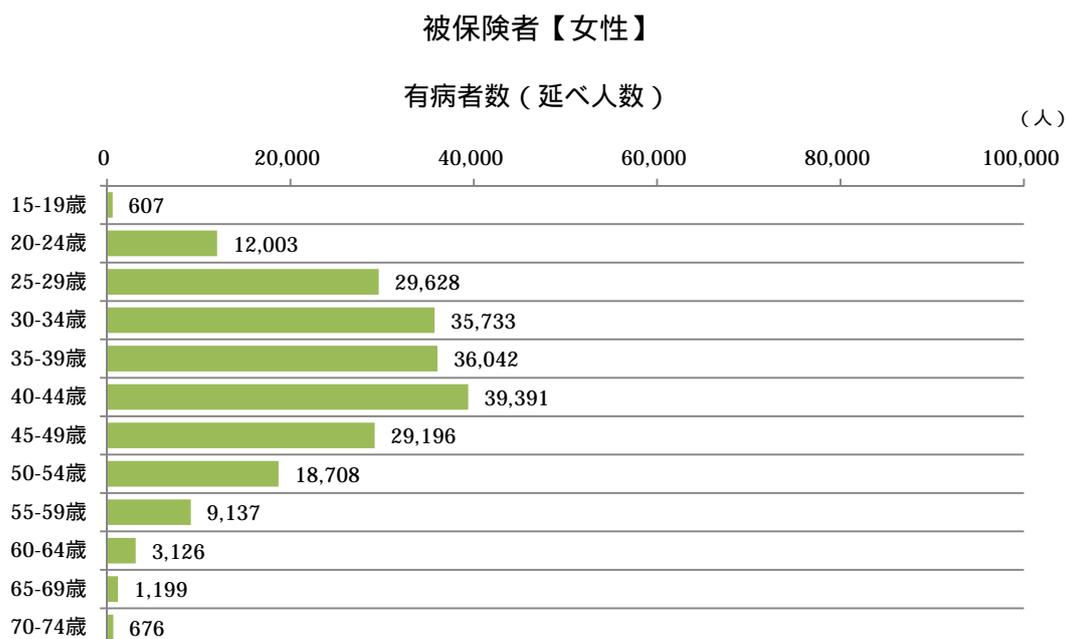
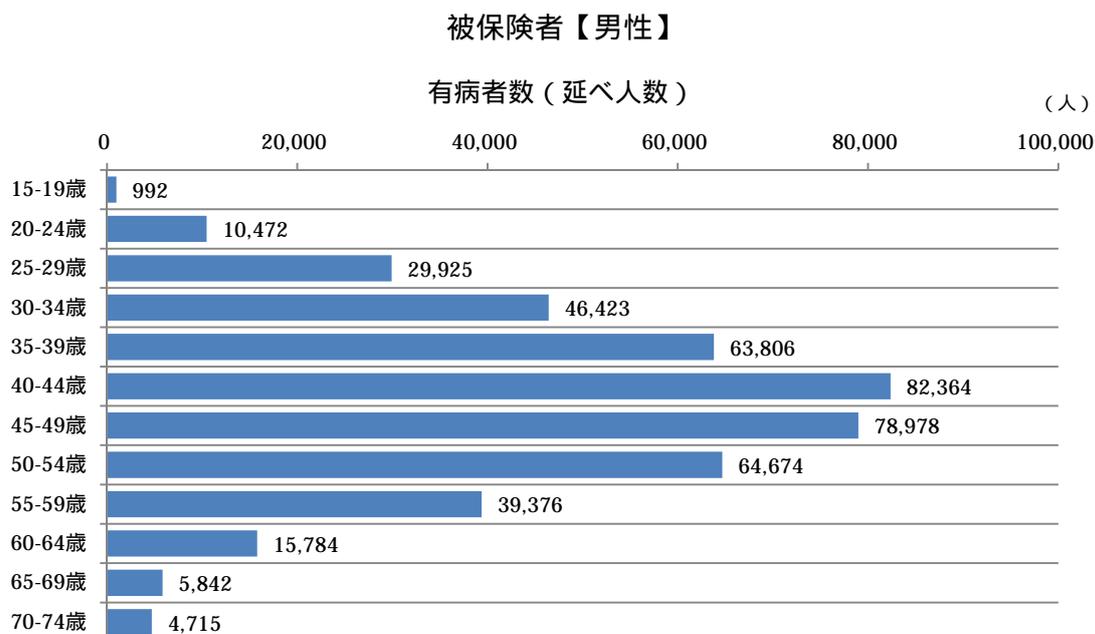


### 被保険者【女性】



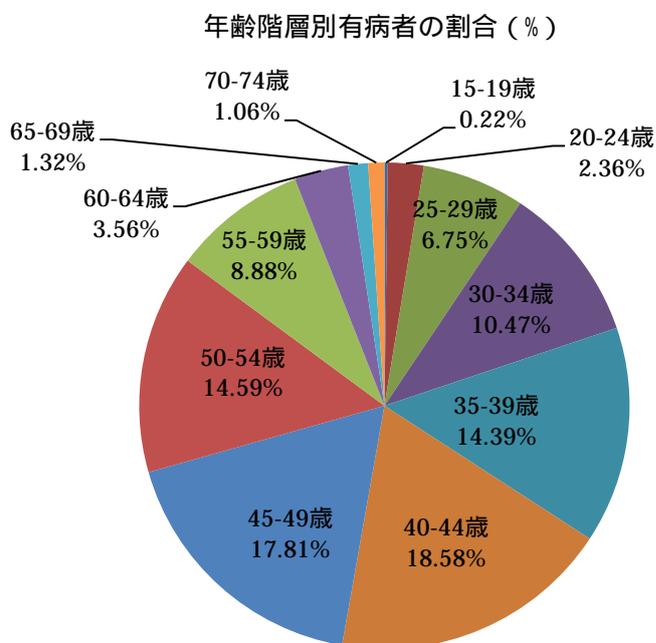
(2) 年齢階層別有病者数(延べ人数)の分布

年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の有病者数をみると、男性では、最も多いのは40-44歳で、次いで45-49歳、50-54歳の順となっている。また、女性では、最も多いのは40-44歳で、次いで35-39歳、30-34歳となっており、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

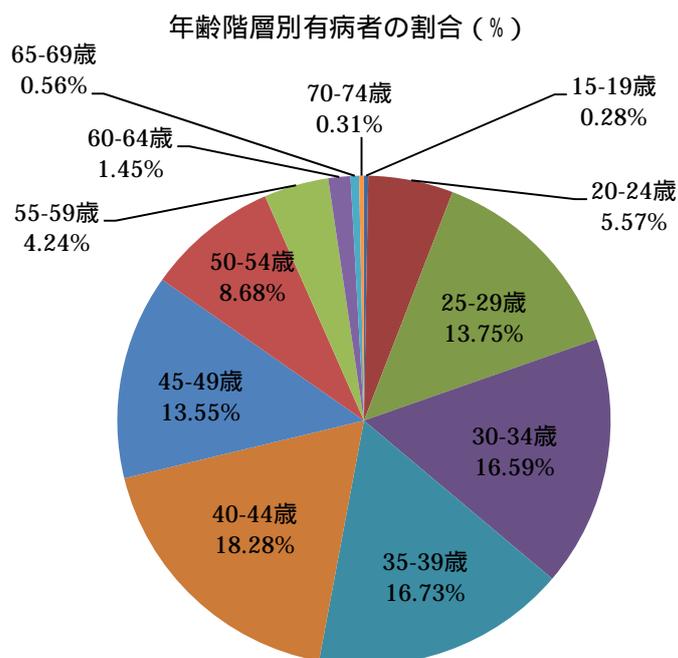


( 3 ) 年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(4) 1人あたり医療費及び医療費3要素

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の1人あたり医療費は、合計:467円、男性:479円、女性:441円となっており、男性のほうが高くなっている。

男性の1人あたり医療費が高い要因を医療費3要素からみると、女性に比べ、1件当たり日数がやや長い、1日あたり医療費がやや高いことが挙げられる。

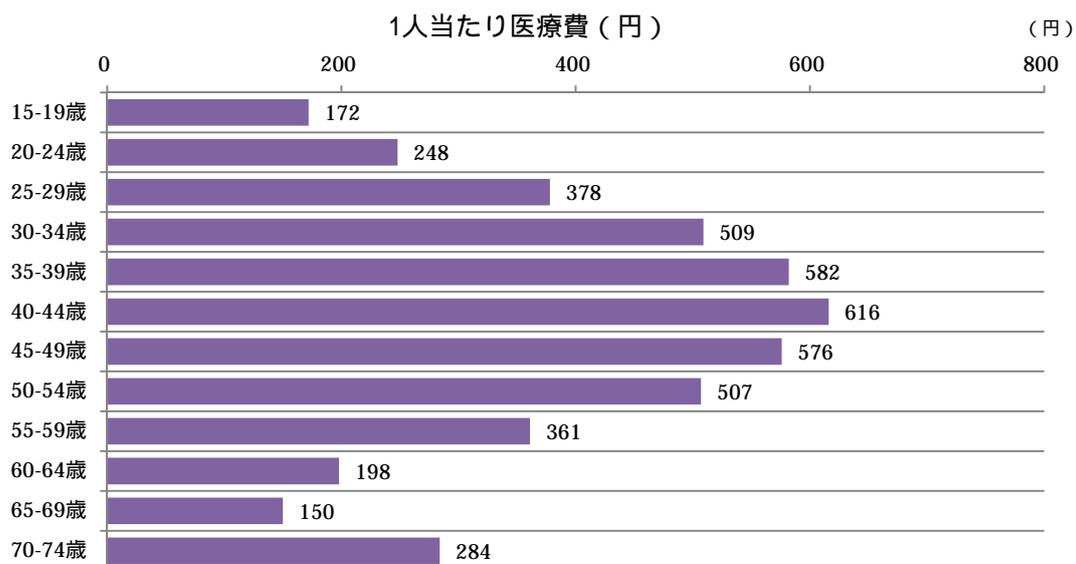
	区分	1人あたり医療費(円)	受診率 <sup>2</sup> (千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日あたり医療費(円)
被保険者	合計	467	45.9	1.7	6,089
	男性	479	45.8	1.7	6,176
	女性	441	46.0	1.6	5,905

(5) 年齢階層別1人あたり医療費

「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の年齢階層別1人あたり医療費をみると、最も高いのは40-44歳:616円で、次いで35-39歳:582円、45-49歳:576円となっている。

男女別でみると(p.7)、男性では40-44歳、45-49歳、35-39歳の順に高く、女性では40-44歳、35-39歳、30-34歳と、男性に比べ、比較的若い年齢層で高い傾向が示されている。

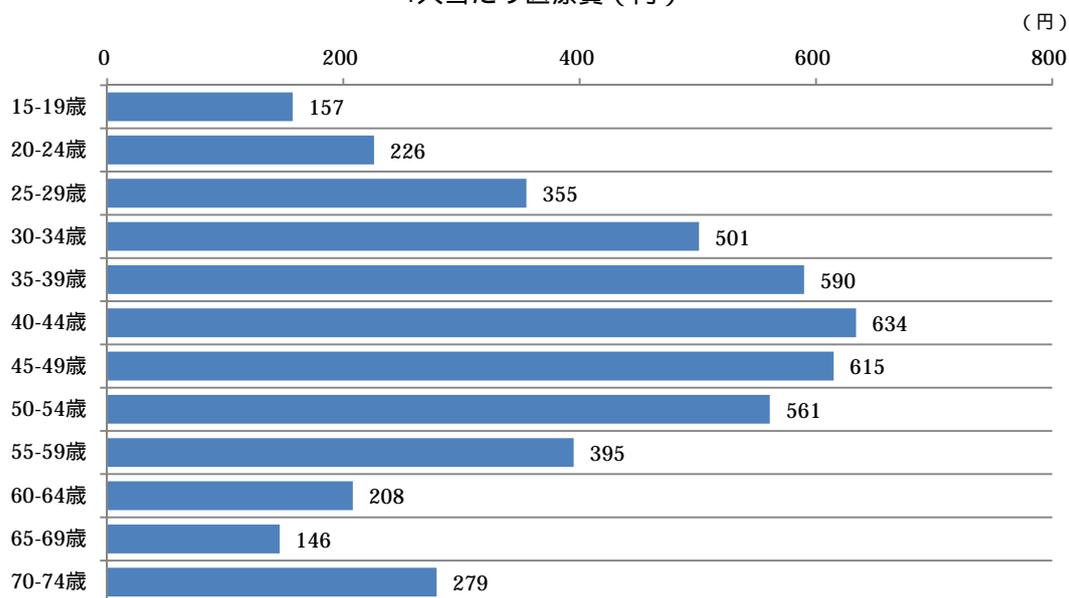
被保険者【合計】



<sup>2</sup>当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数(各月末の加入者数の和を12で除したもの)で除し1,000倍したものである。

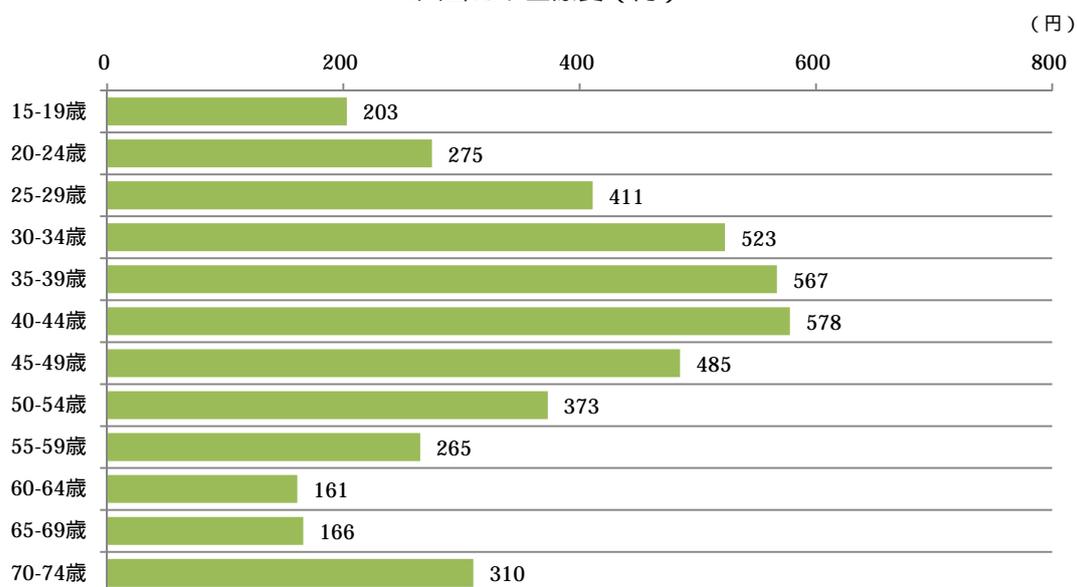
### 被保険者【男性】

1人当たり医療費（円）



### 被保険者【女性】

1人当たり医療費（円）



## 2. 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）

### （1）有病者数の動向

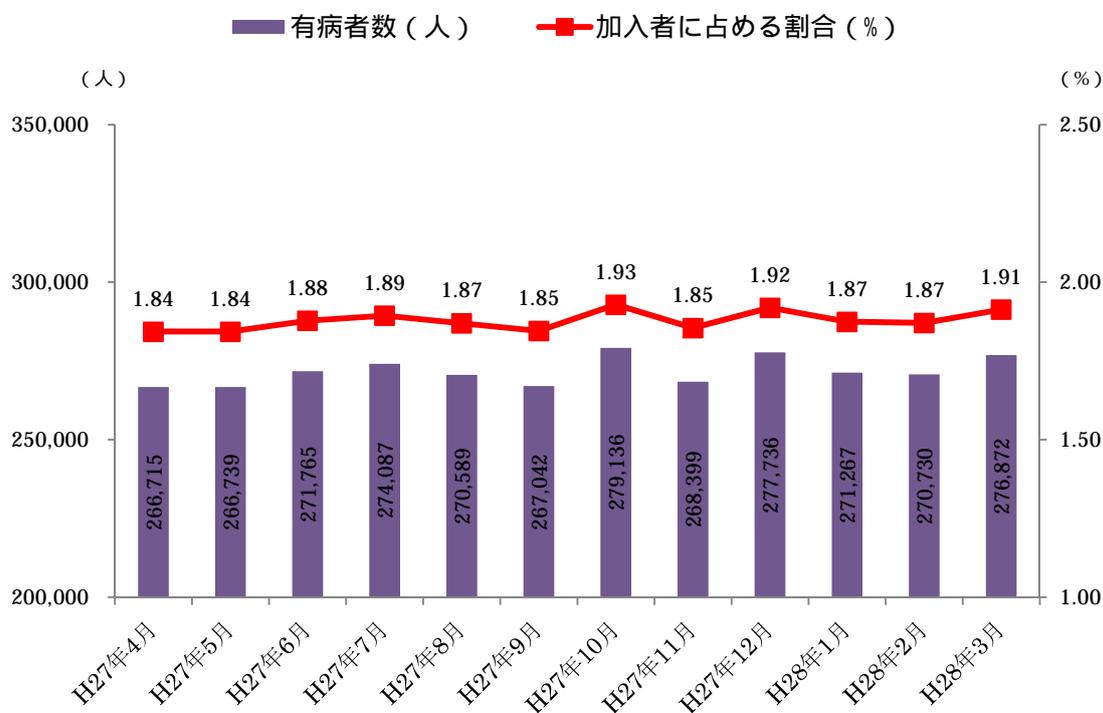
被保険者に占める「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」の有病者数の割合は平均 1.88% となっており、男女別にみると、男性：1.95%、女性：1.73%と、男性の割合が高い。

月別推移をみると、1.84%～1.93%で推移しており、10月、12月、3月にやや増加する傾向がみられる。

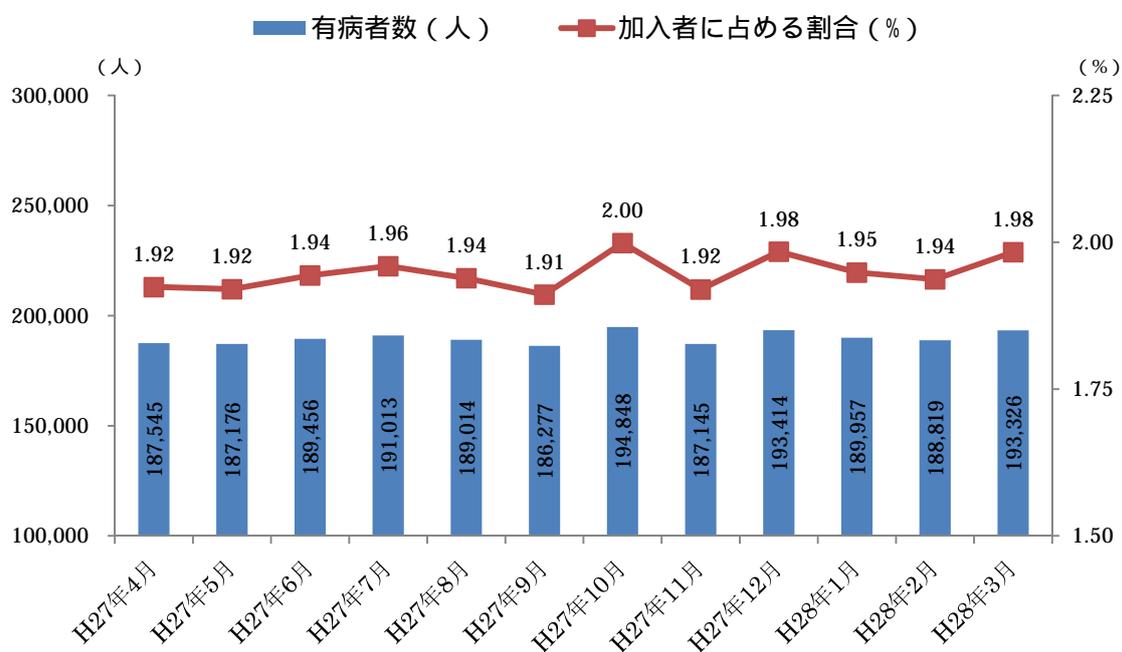
男女別にみると(p.9)、男性では10月、12月、3月、女性では6月、10月、12月、3月にやや増加する傾向がみられる。

被保険者に占める有病者数の割合(平均)	1.88%
男性	1.95%
女性	1.73%

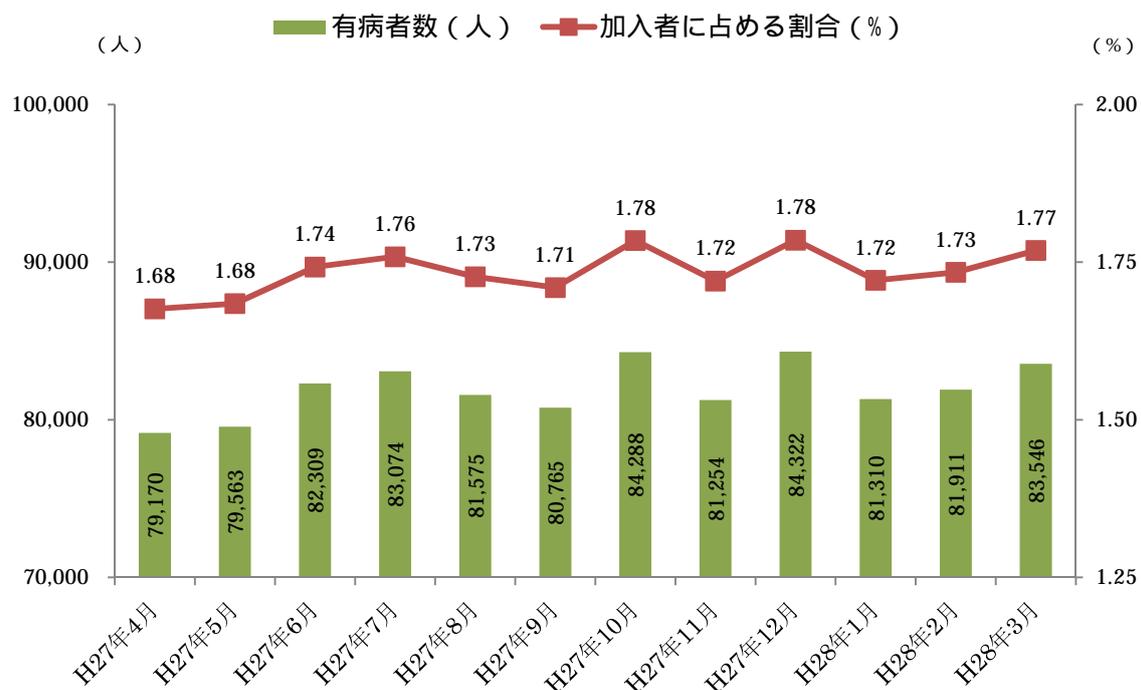
有病者の月次推移：被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】

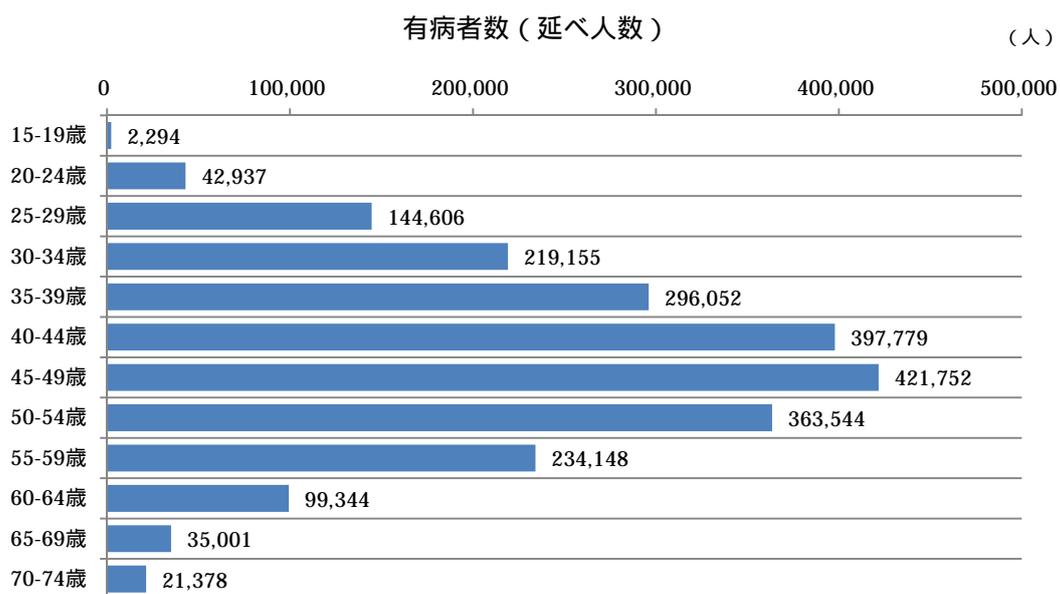


(2) 年齢階層別有病者数(延べ人数)の分布

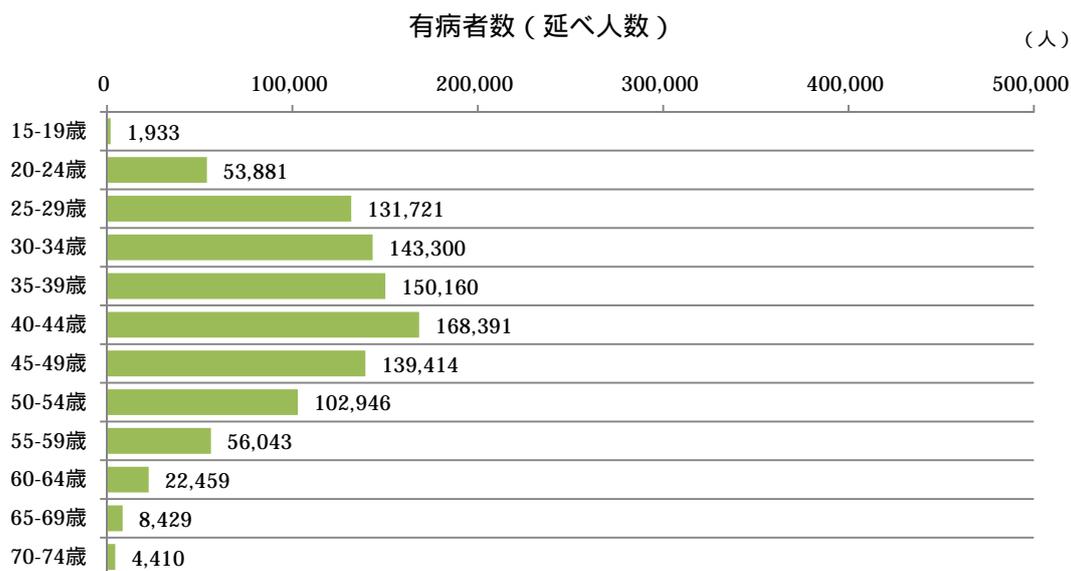
年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の有病者数をみると、男性で最も多いのは45-49歳で、次いで40-44歳、50-54歳の順となっている。

また、女性で最も多いのは40-44歳で、次いで35-39歳、30-34歳となっており、男性に比べ、年齢階層がやや低い傾向が示されている。

被保険者【男性】

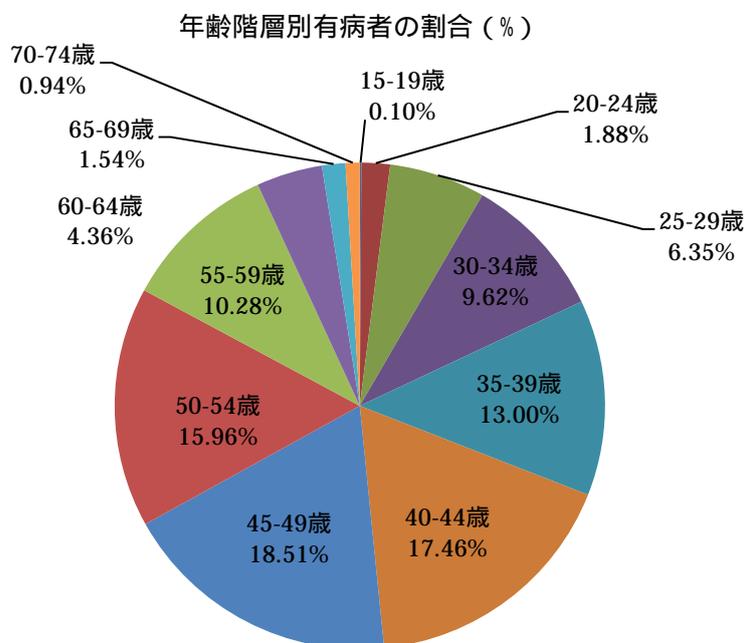


被保険者【女性】

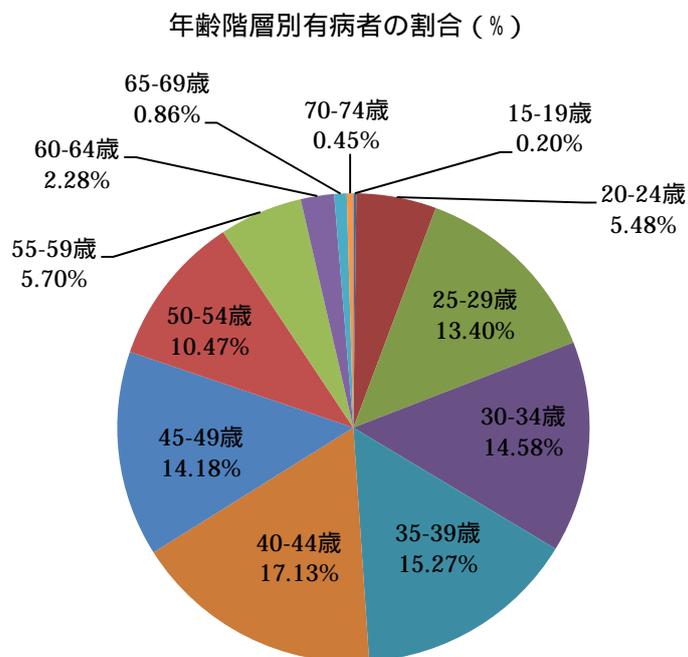


( 3 ) 年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(4) 1人当たり医療費及び医療費3要素

「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の1人当たり医療費では、合計:2,864円、男性:3,075円、女性:2,428円となっており、男性のほうが高くなっている。

男性の1人当たり医療費が高い要因を医療費3要素からみてみると、女性に比べ、受診率が高い、1日当たり医療費が高いことが挙げられる。

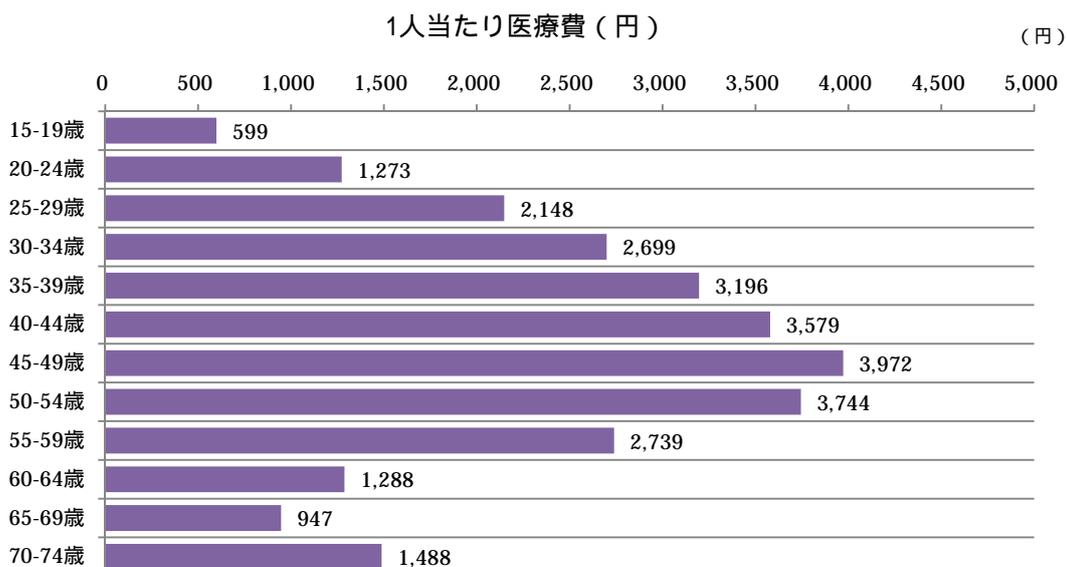
	区分	1人当たり医療費(円)	受診率(千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
被保険者	合計	2,864	229.7	1.6	7,972
	男性	3,075	238.5	1.6	8,219
	女性	2,428	211.6	1.6	7,390

(5) 年齢階層別1人当たり医療費

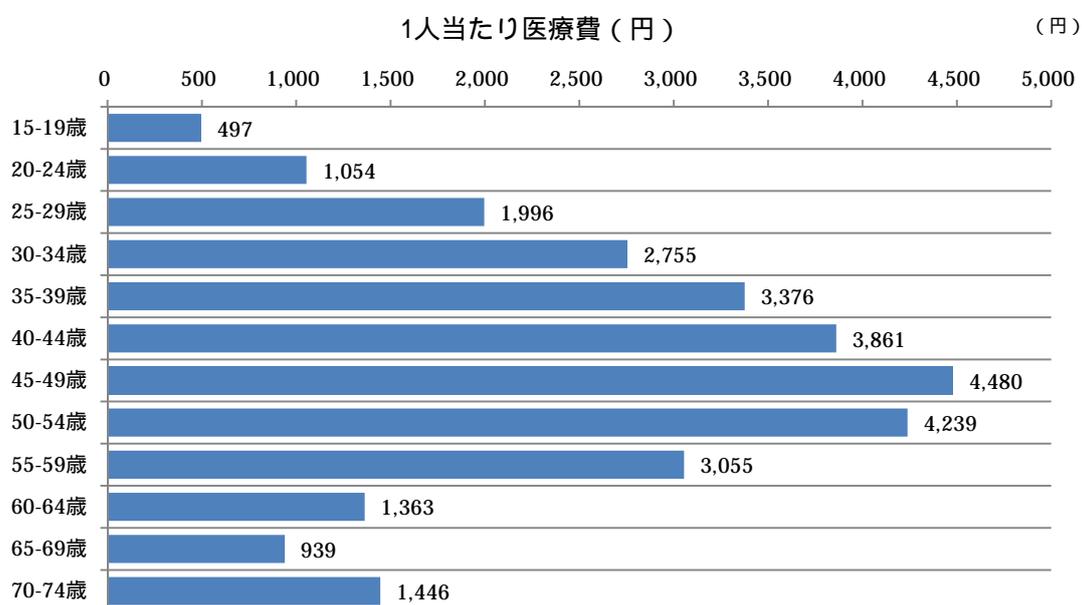
「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の年齢階層別1人当たり医療費をみると、最も高いのは45-49歳:3,972円で、次いで、50-54歳:3,744円、40-44歳:3,579円となっている。

男女別でみると(p.13)、男性では45-49歳、50-54歳、40-44歳の順に高く、女性では40-44歳、35-39歳、45-49歳となっている。

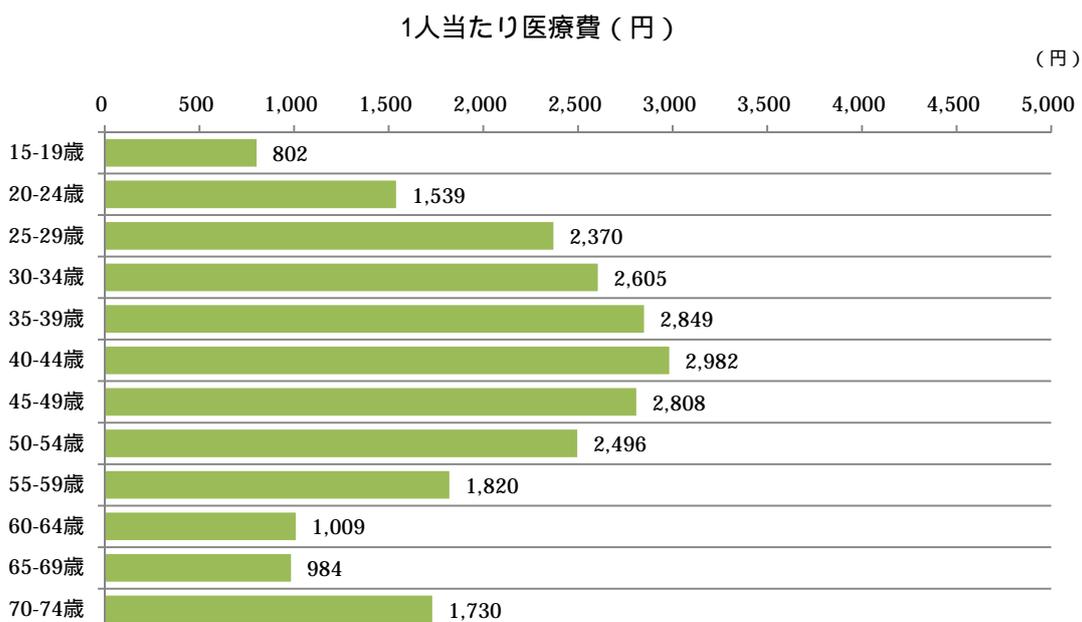
被保険者【合計】



### 被保険者【男性】



### 被保険者【女性】



### 3. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

#### (1) 有病者数の動向

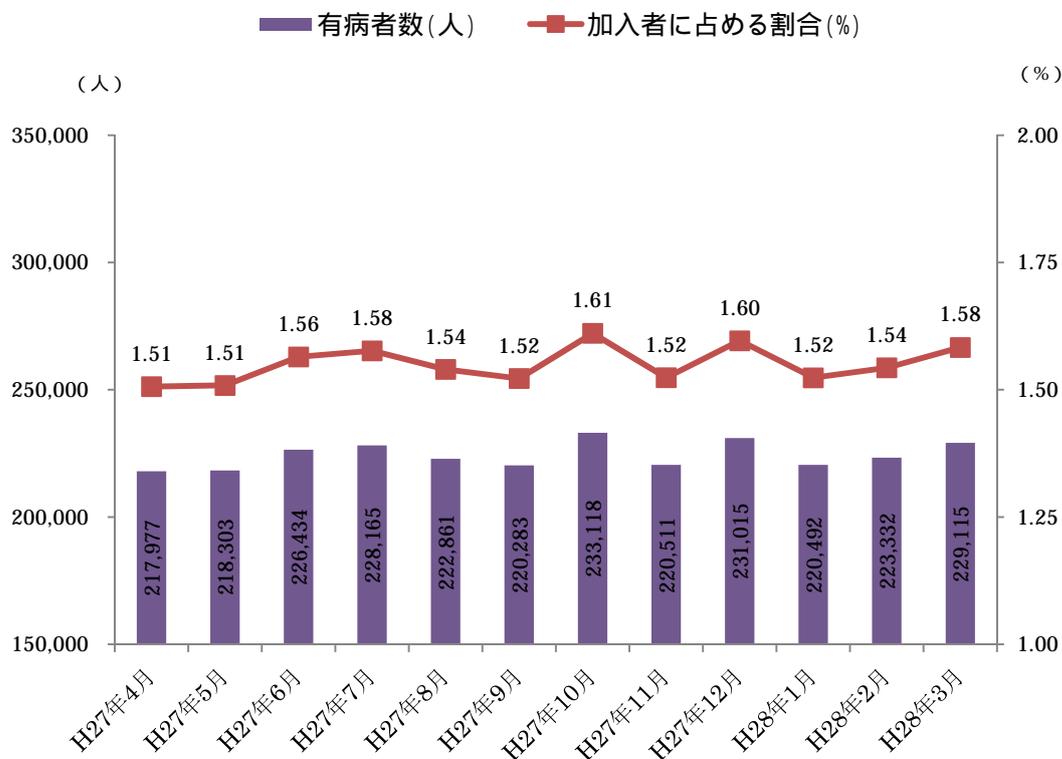
被保険者に占める〔神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害〕の有病者数の割合は平均 1.55%となっており、男女別にみると、男性:1.47%、女性:1.70%と、女性の割合が高い。

月別の推移をみると、1.51%～1.61%で推移しており、6月、10月、12月、3月に増加する傾向がみられる。

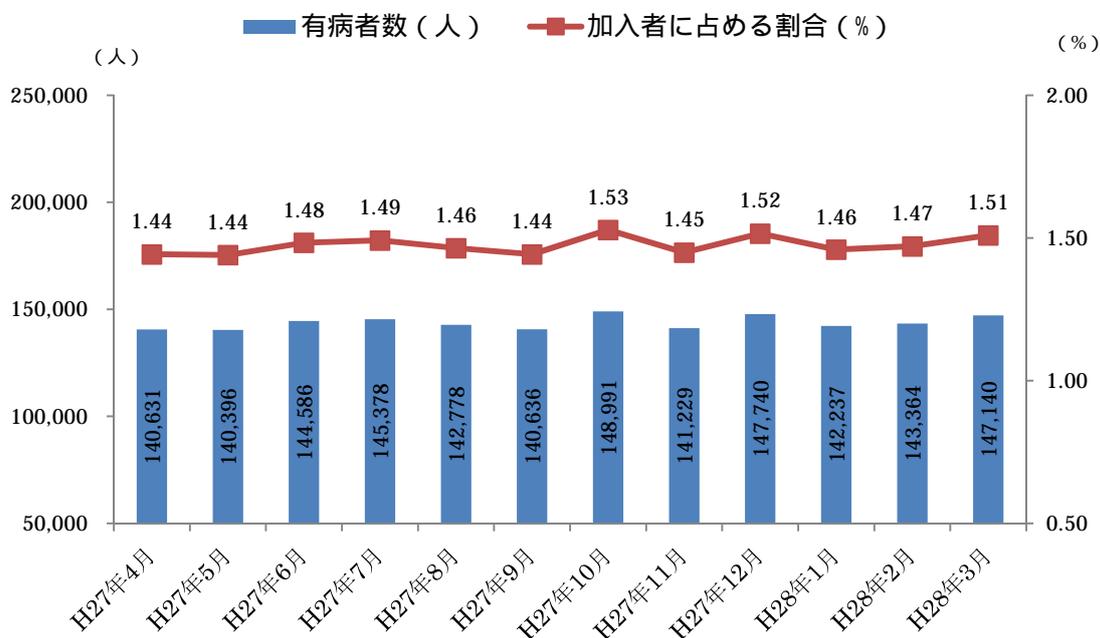
男女別にみると(p.15)、男性では10月、12月、3月、女性では6月、10月、12月、3月に増加する傾向がみられる。

被保険者に占める有病者数の割合(平均)		1.55%
	男性	1.47%
	女性	1.70%

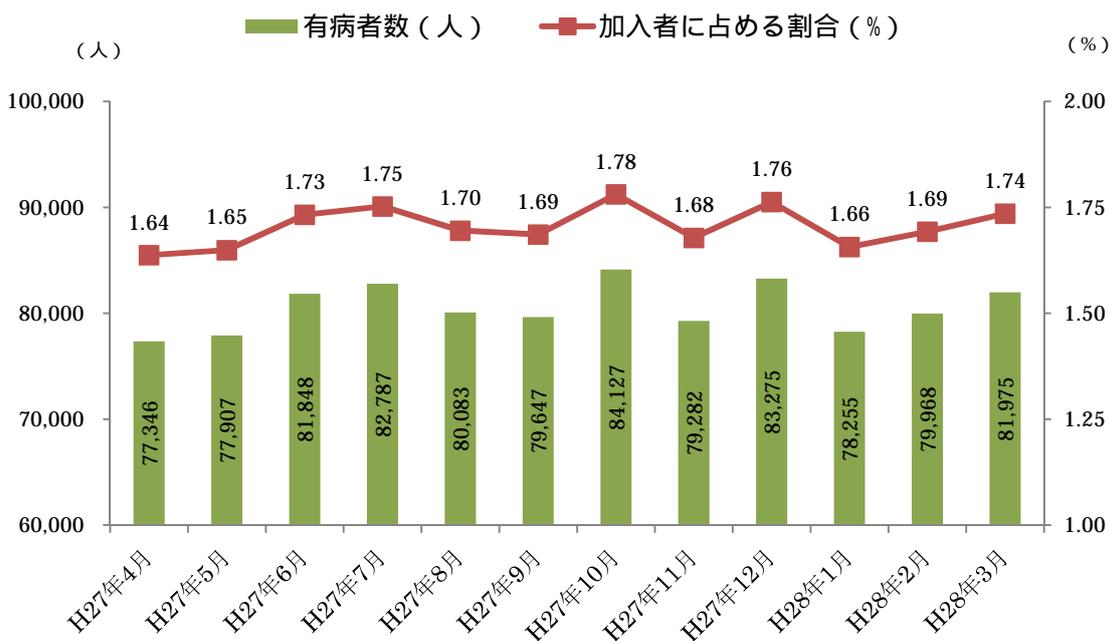
有病者の月次推移：被保険者【男女計】



### 被保険者【男性】



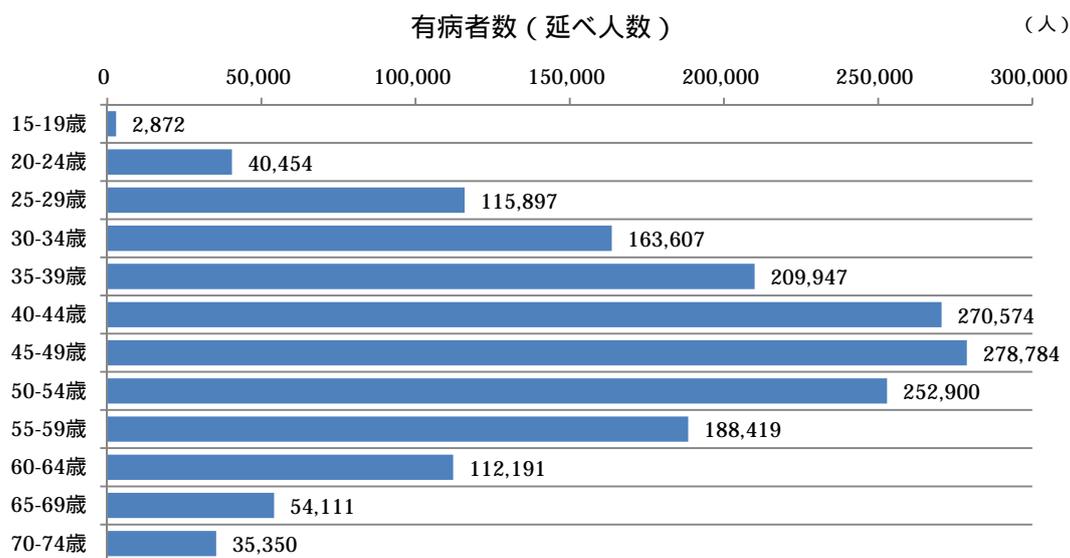
### 被保険者【女性】



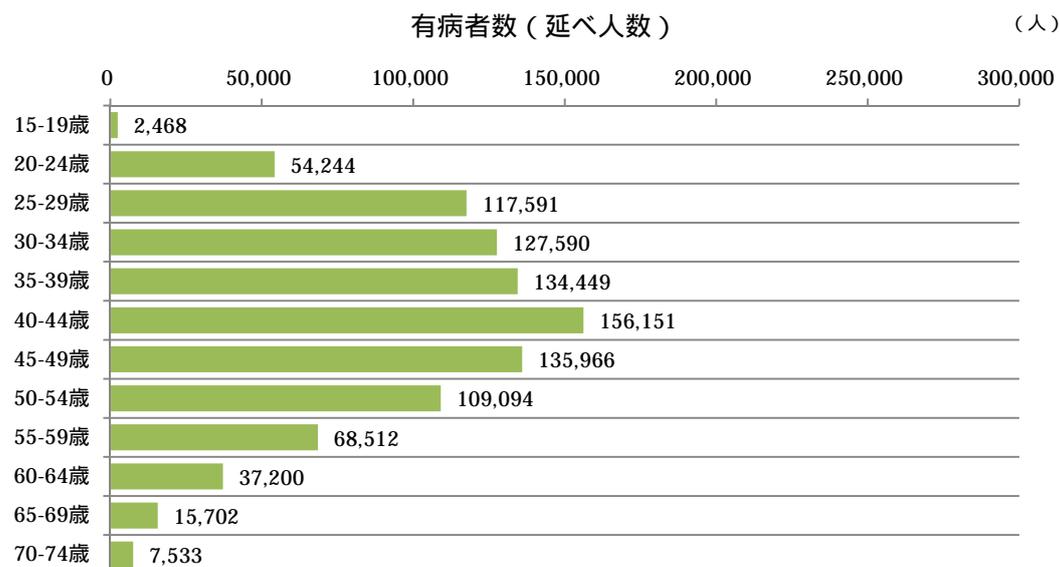
(2) 年齢階層別有病者数(延べ人数)の分布

年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の有病者数をみると、男性では、最も多いのは45-49歳で、次いで40-44歳、50-54歳の順となっている。また、女性では、最も多いのは40-44歳で、次いで45-49歳、35-39歳となっており、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

被保険者【男性】



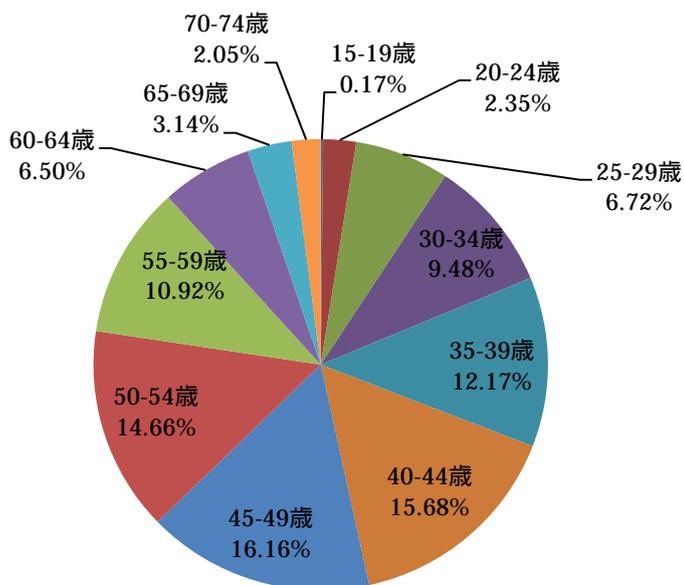
被保険者【女性】



( 3 ) 年齢階層別有病者の構成割合

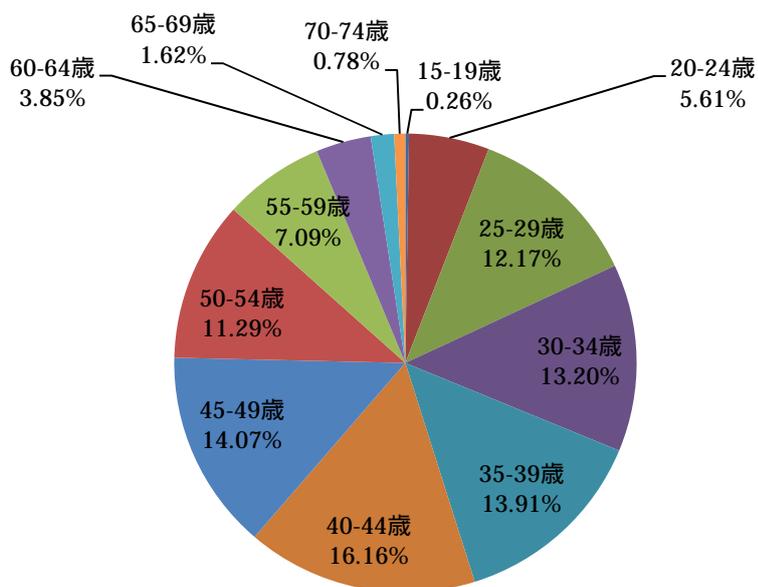
被保険者【男性】

年齢階層別有病者の割合 (%)



被保険者【女性】

年齢階層別有病者の割合 (%)



(4) 1人当たり医療費及び医療費3要素

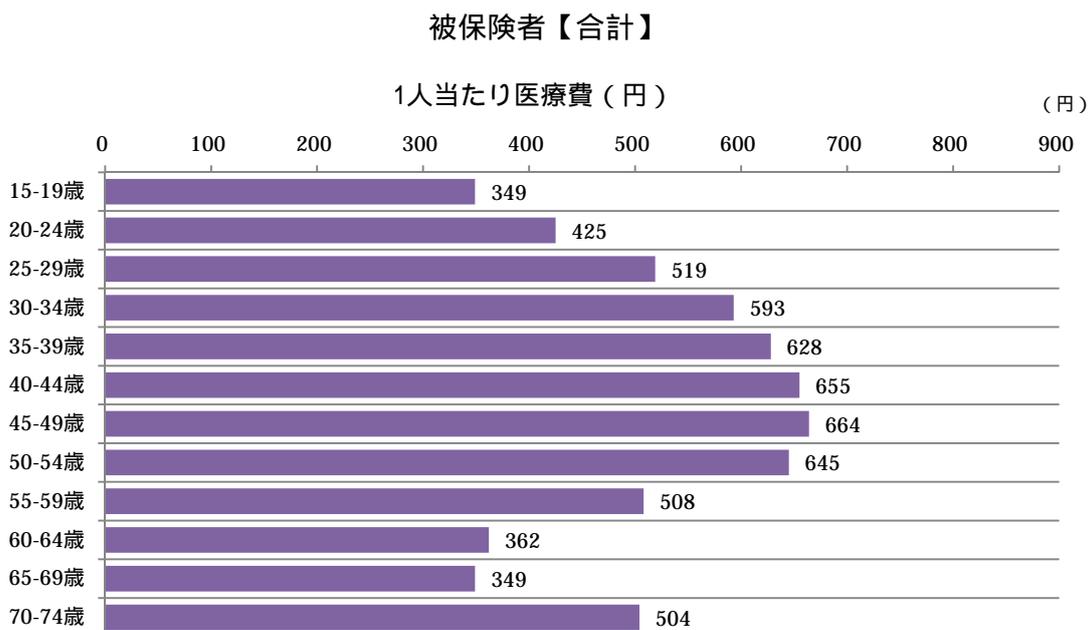
「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の1人当たり医療費では、全体:573円、男性:527円、女性:668円となっており、女性のほうが高くなっている。女性の1人当たり医療費が高い要因について医療費3要素をみると、男性に比べ、受診率が高い、1日当たり医療費が高いことが挙げられる。

	区分	1人当たり医療費(円)	受診率(千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
被保険者	合計	573	189.9	1.5	2,054
	男性	527	180.5	1.5	1,991
	女性	668	209.1	1.5	2,166

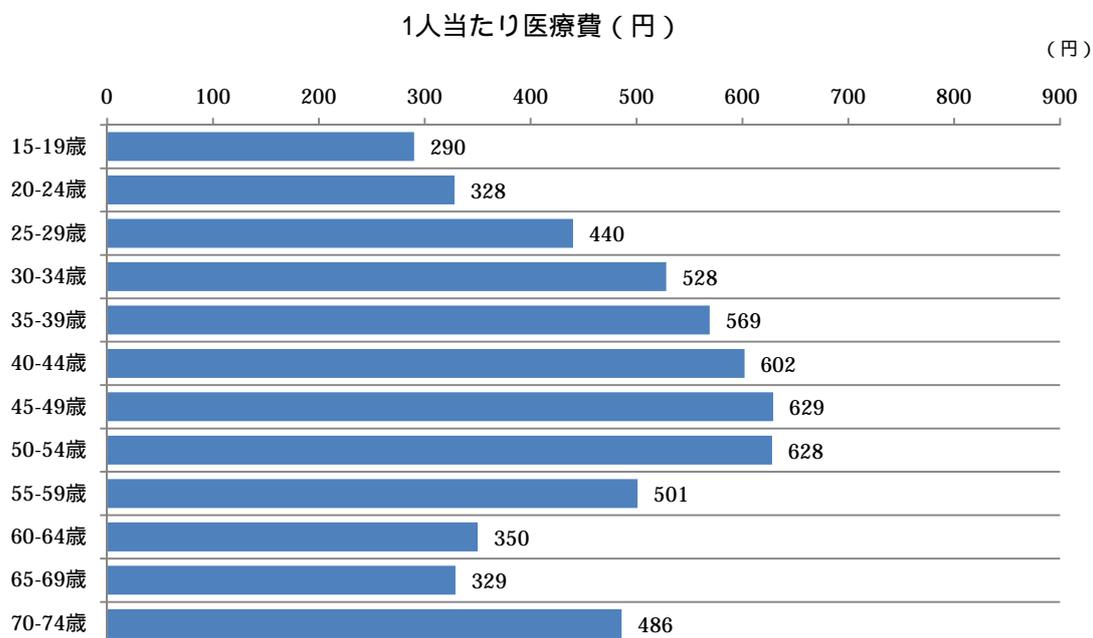
(5) 年齢階層別1人当たり医療費

「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の年齢階層別1人当たり医療費をみると、最も高いのは45-49歳:664円で、次いで40-44歳:655円、50-54歳:645円となっている。

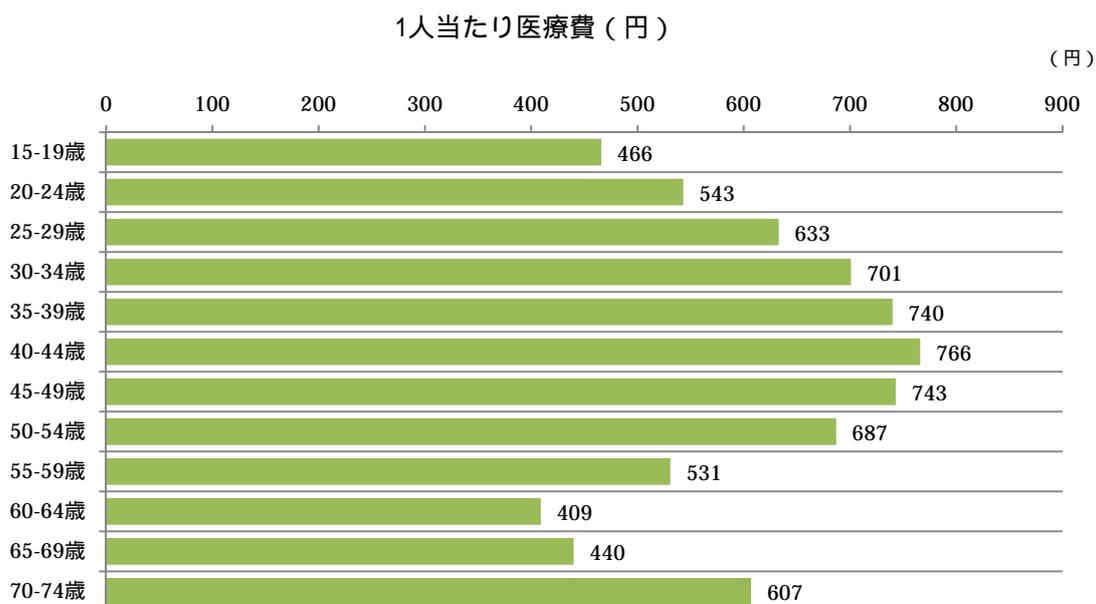
男女別でみると(p.19)、男性では45-49歳、50-54歳、40-44歳の順に高く、女性では40-44歳、45-49歳、35-39歳と、男性に比べ、比較的若い年齢層で高い傾向が示されている。



## 被保険者【男性】



## 被保険者【女性】



## 用語の定義

有病者数：

有病者数は、レセプト上に当該傷病名の記載がある受診者の数である（なお、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントしている。また、1 受診者に複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに 1 とカウントしている）。

受診率（1,000 人当たり件数）：

当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したものである。

1 件当たり日数：

当該年度の 1 件当たり日数は、当該年度の診療実日数を診療件数で除したものである。

1 日当たり医療費：

当該年度の 1 日当たり医療費は、当該年度の医療費を診療実日数で除したものである。

1 人当たり医療費

当該年度の 1 人当たり医療費は、当該年度の医療費を、当該年度末の平均加入者数で除したものである。

< 1 人当たり医療費と医療費 3 要素分解 >

1 人当たり医療費 = [医療費] ÷ [加入者数] =

受診率（[レセプト件数] ÷ [加入者数]）× 1 件当たり日数（[日数] ÷ [レセプト件数]）×

1 日当たり医療費（[医療費] ÷ [日数]）